

証明された情報伝達の遅れ＝ゴミ焼却場の火事 市民病院守る意志しめしリフォーム推進を

施設	金額	改修内容
3階蓄電池	10,780	個室8床増(61床→69床)
庭園地下設備	3,027	トイレの改修すべて洋式化車いす対応
工場用水ポンプ	1,463	内装更新
ダムウェーター1号	17,611	配管施設更新
ダムウェーター2号	13,970	集中治療室5床増 15→20床に
ボイラー部品	2,530	カンファレンスルーム
蒸留水製造ユニット	45,738	IC室
防火シャッター	8,979	薬品保管庫
会計裏男子トイレ	1,732	仮眠室・休憩室
手術室シーリングコラム	18,920	地域包括ケア病棟
予備空気	5,500	照明LED化
リニアック・ATM改修	10,000	4人床44減(244床61室→200床50室)
HOSPIシステム	97,460	病床数を320→289床に31床減
解剖灯取替	4,180	ダイニングルーム拡張
合計	241,890	ナースセンター拡張
		包括ケア病棟にリハビリ、ダイニングを
合計		2億9000万円
		2020年=4億9600万円
		2021年=4億9600万円
		3年間合計 12~13億円

部長任せで答弁しない市長

日本共産党山口はるみ議員は、一般質問で安倍内閣の公的・公立病院の再編統合の対象とされた全国424病院、愛知県下9病院に碧南市民病院が名指しされたことに市長が、白紙撤回を求め、市民病院を守る意志を、示すべきと求めました。

市長は、一度も答弁に立たず、永谷部長が応えるだけでした。

届いていない正式文書

厚生労働省は、9月26日に名指し公表を行ったものの正式には11月中旬に届くとしていた文書もまだ届いていません。全国知事会、市長会、町長会などがそろって「白紙撤回」を求めています。医師、労働者も12月4日に「公立公的病院等再編・統合阻止共同行動」を広げています。全国の運動とともに名指しされた碧南市も撤回を求めるべきです。

緊急メールは9日も後に

市が情報手段と言ってきた緊急メールによる連絡は9日あとの29日。閲覧板は、いまだ回ってきません。これでは、大災害の時、必要な情報が届くのでしょうか。市長の判断の遅れは、否めません。

12月10日から焼却フル稼働

点検に入っていた2号炉が10日に検査完了。10日か

ゴミ焼却場2号炉可動、粗大ごみ粉碎コンベアは復旧今から

11月20日発生した、衣浦衛生組合ゴミ焼却場の火災によって、持ち込みごみの禁止。回収可燃ごみは市外に焼却を依頼する事態となりました。ところが市のホームページには乗せたものの、ほとんどの市民は知らない状況が続きました。

山積みの持ち込みゴミが出せなかった人、他市で焼却していることもほとんどの市民には、知らされませんでした。

リフォームは1年後に先送り。腰の引けた市長

「2020年9月には地域医療圏審議会が開催され、各病院の調整が行われる、ベット数などの縮小をしていくことになる」と部長が答弁しました。

しかし、市長は国の指摘直後に、今後3年間かけるリニューアル計画の2019年分の約4億円を凍結したのです。

高浜刈谷総合病院の影響で1000の空ベット

7月には、刈谷総合病院高浜分院が142床で開設。診療科は内科、外科、整形外科、眼科です。その影響で、碧南市民病院は、約100床の空きが出ています。ピンチをチャンスに変え、今こそ1階づくりリフォームを実施するべきです。

及び腰では、市民の命や健康も地域医療も守れませ

19日行動12月19日(木)
午前11時～12時スーパーヤマナカ前

日本共産党碧南市議団





山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

お気軽にご意見ご要望を

らは2号炉がフル稼働で焼却しています。しかし粗大ごみの破碎をするベルトコンベアは修繕、復旧のめどはたつていません。12月27日の衣浦衛生組合議会での、議決後となります。

教訓を生かし再発防止を

山口はるみ議員は、火災の原因、再発防止、市民への早い情報伝達など今後教訓を生かすように求めました。

年末年始の持ち込みごみ対応を

市民の持ち込みごみは、現在もストップしています。年末に向け、受け入れ再開を急ぐよう求めました。

使えぬ介護保険料利用料減免制度

碧南市は、介護保険制度発足後全国でも早くに減免制度を実現しました。ところが、所得基準が厳しく保障料で3人。利用料で0人と使えない減免制度となっています。第1段階 第2段階のみを対象に、80万円から120万円の収入額のみと、厳しいものです。さらに貯蓄100万円以下では、日々の生活に困っていても減免申請できません。

知立市では収入150万円以下貯金は200万円以下です。2017年の減免数は71件50万2100円となっています。碧南市と大きくかけ離れています。